

「できマウス。」の仲間たち

「できマウス。」をパソコンに接続する前に、この説明書をお読みください。

「できマウス。」は、パソコンに接続しても何もしません。

- 5 「できマウス。」の仲間たちと称するソフトがあって、初めてお役に立てるようになります。ここでは、いろいろなソフトをご紹介します。(詳細は Web もご覧ください)
なお、文中のボタンは、使用状態において、スイッチやセンサーに置き換えてお読みください。 ソフトは、無料で利用できますが、寄付(カンパ)は大歓迎です。
「できマウス。」の仲間たちは、サイトからダウンロードできます。

10

「できチョンツー。」 ボタンを押す長短の組み合わせで、マウスやキー入力の役割りをします。

「できボタン+。」 操作できるボタンが1個であっても複数のボタンを仮想的に操作することができます。

15

「できリング。」 マウスカーソルの周囲にリングが表示され、さらにマウス移動方向ガイドのサブリングが表示されます。カーソル移動やクリックドラッグを含めて、マウス操作を1個のボタンで可能にします。

「JoyToKey」 複数ボタン用のソフトですが、1個のボタンからでも利用できるように、対応していただきました。

20

「パッド de マウス」 複数ボタン用のソフトですが、1個のボタンからでも利用できるように、対応していただきました。
仮想キーボードのフォントサイズ変更や手ぶれ対策も追加していただきました。

25

「できクリック。」 マウスカーソルの移動は可能だが、マウスのボタン操作が困難な場合に利用していただくソフトです。

「でき6点。」 「Φ3.4x12ユニット。」を「できマウス。」に接続し、6個のボタンを利用して点字入力するものです。(今回は説明省略)

「できTAB。」 次の項目にフォーカスを移動するときは、TABを使いますね。戻る場合は、SHIFT+TABですね。決定するときは、SPACEやENTERキーを使いますね。このTABを利用して、目指す箇所を選択して決定するときに役立ててもらえたらと作りました。既にあるソフトが、まるでオートスキャンに改造したように利用することができます。

30

35

「ためしてスイッチ。」 スイッチを複数所持している相談機関や学校などでスイッチ利用者と共に、スイッチの選定を容易に行えるように作りました。スイッチの写真やスイッチの特徴を写真とデータで管理できます。

「できマウス。」プロジェクト

<http://dekimouse.org>

導入にあたって（あせらず、説明書を一步一步読んでくださいね。）

1. 利用者に触れていただく前に、サポートされる方が、操作してみてください。
2. まず、「できマウス。」を接続しないで、添付 CD から「できクリック。」をインストールしてみてください。CD を PC にセットしますと、ブラウザが起動してメニューが表示します。
- 5 3. 「できクリック。」を起動し、右端が赤のときは、その上にマウスカーソルを合わせると ON になります。（マウスのボタン操作は一切しないでください）
スタートボタンの上にマウスカーソルを移動して放置すると、自動でクリックするはずですが、ソフトで機能発生できることを体験できます。（13 ページを参照してください）
「できクリック。」を終了してください。
- 10 説明を見ながらマウスカーソル移動だけで
終了できます。（マウスボタンは、一切操作しません）
4. 「できマウス。」を接続し、さらに、「できマウス。」の 1 番のジャック（黄色シール）に
お好みのスイッチを挿入してください。
次に「JoyToKey」をインストールして起動してください。
- 15 JoyToKey の左側のメニューの Y ボタンが 4 個でマウス遅いを選択し、ボタン 1 を押して
みてください。マウスカーソルが移動するでしょう。
同じように Z ボタンが 4 個でマウス早いを選択し、ボタン 1 を押してみてください。マウス
カーソルが早く移動するでしょう。これらの動作のとき、右側の設定内容に目をやると、
設定の感じがすこーし理解できるでしょう。（9 ページ参照してください）
- 20 JoyToKey では、ボタンにキーボードの機能も自由に割り当てることができます。
新規で名前を決めてご自分で試してみてくださいね。
「できボタン+。」は、JoyToKey を利用しますので、JoyToKey を先に体験してください。
パッド de マウスには、JoyToKey と同じ機能があり、設定内容を名前を付けて保存できま
せんが、手ぶれ対策の設定ができますので、特定のソフト利用の場合は便利です。
- 25 **JoyToKey やパッド de マウスを終了してください。**（タスクトレイにいます）
5. 次に、「できチョンツー。」をインストールして起動して、最小化します。
「できマウス。」のボタン 1 に接続したボタンをできるだけ短時間 ON にしてみてください。
マウスカーソルが移動するでしょう。更に短時間 ON にしてみてください。90 度方向を
変えてマウスカーソルが移動するでしょう。停止は、ボワッと音がするまでボタンを押して
30 ください。たくさんの機能があり、特定の場所でマウスカーソル移動がゆっくりになる
ブレーキ機能もあります。キー入力機能も自由に設定できます。（3 ページ参照）
「できチョンツー。」を終了してください。（タスクトレイにいます）
6. ここまでで、特に疑問点がなければ、他のソフトも試してください。
疑問点やご要望がある場合は、お気軽にメールにてお問い合わせください。

35

40

1. 「できチョンツ。」

「できマウス。」に接続した1個のボタンを押している時間の長短の組み合わせで、マウスやキーボードの各種動作を行うものです。

特徴的な動作として、ブレーキモード機能を搭載しております。

5 設定内容は、次回起動時にも反映されます。(別紙の動作確認も参照してください)



図 1-1

図 1-1 が設定画面です。「できチョンツ。」は、設定後は、最小化で使用します。

マウス移動を8方向にするにチェックがあると、ボタンを短押しするたびに、

45度方向を変えながら、マウスカーソルが移動します。

左右上下で折り返すにチェックがあると、画面の左右上下の端でマウスカーソルが折り返し移動します。

注意) ここからは、ボタンを短く押す場合を0長く押す場合を1として説明します。

000で速度速めるにチェックがあると、000(短押し3回連続)と押すと、設定速度の2から3倍程度の速度でカーソルが移動するようになります。再度000すると、設定速度にもどります。

最小化で起動するにチェックがあると、次回起動時以降は、起動するとタスクトレイに常駐します。通常は、この状態をご利用ください。

音を出すにチェックがあると、短押しと長押しを音で判定できます。

最小化ボタンをクリックすると、設定画面が最小化されます。

HELPボタンをクリックすると、HELP表示されます。(1010でもHELP表示します)

終了ボタンをクリックすると、「できチョンツ。」を終了しますかの画面になります。

カーソル移動速度は、カーソルの移動速度を設定します。

長押し判定時間は、どれだけボタンを押して長押しとするかを設定します。ボタンを長く押すことが難しい場合は、できるだけ短く設定すると良いでしょう。しかし、あまり短く設定しますと、短押しとの区別が難しくなります。

実行までの時間は、短押し長押し後に、そのイベントが発生するまでの時間です。

5 (この時間内に、長短の組み合わせを行うわけです。)

「できチョンツー。」を起動した状態では、“マウスモード”になっており、長短押しの組み合わせのイベントは図 1-2 のとおりです。

<p>10</p> <p>マウスモード (長押しでポッポボと音がして、モードが交互に長切り替わります。)</p> <p>0 押すたびに90度方向変更してカーソル移動 00 押すたびに180度方向変更してカーソル移動 ブレーキ中に押すとブレーキを解除 000 いまだにカーソル移動速度速める/もどす 0000 アクティブ窓を閉じる 00000 Windowsの終了(未完成)</p> <p>15</p> <p>1 移動停止/停止時は左クリック(ドラッグ開放) 01 右クリック 11 左ダブルクリック 010 中央(ホイール)クリック</p>	<p>110 左ドラッグ 101 未定義 100 未定義</p> <p>001 アクティブ窓最小化 011 直前アクティブ窓を元に戻す 111 アクティブ窓の最大化</p> <p>1000 アクティブ窓の右下にカーソル移動 (サイズ変更モード) 1001 ロジクールマウスウェア起動 1010 HELP表示 1011 「できチョンツー。」の設定画面表示</p>
--	--

図 1-2

ブレーキモード

ブレーキモード機能とは、たとえば、ブレーキ項目のアイコンにチェックを入れますと、移動中のマウスカーソルが、デスクトップのアイコンに触れますと、自動でカーソル移動速度が遅くなります。これにより、めざす場所でのクリックが容易になります。

25 ブレーキ状態で、短2押しでブレーキをスキップし、次のブレーキ対象のところで再度ブレーキがかかります。短1では、マウスカーソル移動方向を変更できます。

ブレーキは、なし・弱・中・強から選択できます。なしでは、チェックにかかわらずブレーキは働かなくなり、各ブレーキ項目の表示はグレーになります。

「できチョンツー。」の高度な使い方

キー入力モード(キーボードモード)

ボタンをキー入力モードに入る長押し時間で設定した時間より長く押ししていると、“ポッポアポア”という音がし、タスクトレイの「できチョンツー。」の表示が点滅し、キー入力モードになったことを告げます。

35 この状態で、キー入力モードで JoyToKey を使うチェックがなければ、図 1-3、キー入力モードで JoyToKey を使うにチェックがあれば、図 1-4 のような長短押しによるイベントとなります。(JoyToKey は、インストールしてあれば、「できチョンツー。」が自動で起動させます。) **JoyToKey については、4 項に解説があります。

40 キー入力モードからマウスモードに戻るには、“ポッポアポア”と音がするまで再度長押しをします。

キーボードモード
(長押しでポップボと音がして、タイトルバーフラッシュ)

◇JoyToKeyJoyToKeyを使うにチェックがないとき

0	TAB
00	ENETR
000	SPACE
0000	Windowsキー
00000	未定義
1	PageUp
10	PageDown
100	Shift + TAB
1000	Ctrl + TAB
10000	Alt + TAB
11	F1
110	ESC
1100	未定義
11000	未定義
111	未定義
1110	未定義
11100	未定義
1111	未定義
11110	未定義

図 1-3

JoyToKeyを併用するときは、JoyToKeyの設定ファイルは、0.できチョンツで設定してください。

◇JoyToKeyJoyToKeyを使うにチェックがあるとき

0	JoyToKeyのButton1設定による
00	JoyToKeyのButton2設定による
000	JoyToKeyのButton3設定による
0000	JoyToKeyのButton4設定による
00000	未定義
1	JoyToKeyのButton5設定による
10	JoyToKeyのButton6設定による
100	JoyToKeyのButton7設定による
1000	JoyToKeyのButton8設定による
10000	JoyToKeyのButton9設定による
11	JoyToKeyのButton10設定による
110	JoyToKeyのButton11設定による
1100	JoyToKeyのButton12設定による
11000	JoyToKeyのButton13設定による
111	JoyToKeyのButton14設定による
1110	JoyToKeyのButton15設定による
11100	JoyToKeyのButton16設定による
1111	JoyToKeyのButton17設定による
11110	JoyToKeyのButton18設定による

図 1-4

注意) 「できチョンツ。」の設定画面でキー入力モードで **JoyToKey** を使うにチェックを入れた場合、JoyToKey の設定ファイルは、自動的に“0.できチョンツ”の設定ファイルに切り替わります。

よって、JoyToKey を設定する場合は、“0.できチョンツ”の設定ファイルをご利用ください。

「できチョンツ。」から、JoyToKey の設定画面を表示するには、キー入力モードで **01** としてください。JoyToKey を最小化する場合は、**001** としてください。

なお、JoyToKey がインストールしてあれば、**JoyToKey** が自動起動します。

また、「できチョンツ。」を終了する際は、JoyToKey も自動で終了させますので、JoyToKey を手動で無理に終了させないでください。

IBM ホームページリーダー3.01+「できマウス。」+「できチョンツ。」

視覚と四肢障害がある場合に試してみてください。スイッチの長短で、ホームページリーダーの操作ができます。なお、「できチョンツ。」は、キー入力モードで JoyToKey を使うにチェックを入れてください。

JoyToKey の設定は、

http://frames.cool.ne.jp/dekim_hpr/01key.htm

からダウンロードできます。

この愛ディアは、「できマウス。」ユーザー様のシトさんが考案された

ものです。シトさん、ありがとう！！

2. 「できボタン+。」

一個ないし、少ない個数のボタンでパソコンを操作していて、そのボタンに違った機能を割り当てたい場合ってありませんか？

そのような時に、ちょっとでも役立てればと、「できボタン+。」というソフトを作ってみました。

5 このソフトは、JoyToKeyVer3.71以降というソフトと一緒に動作して機能を発揮します。

「できボタン+。」は、仮想ボタンであり、

1. ボタン利用が1個の場合、16個までの別の機能を割り振ることができます。

2. ボタンに文字を定義したり、色を変えたりできます。

3. Pete や HeartyLadder のようなスキャンモードでも大いに役立ちます。

10 4. 引数を与えると、JoyToKey の設定ファイルを指定することができます。Ver20.以降

例 DekiBtn.exe 3 この場合、JoyToKey の 3. x x x x x の設定を指定できます。

「できボタン+。」を起動するとき、自動的に JoyToKey を起動します。

15



図 2-1

はじめて起動すると、図 2-1 が表示されます。

できボタン+。」の表示部を右クリックしますと、「図 2-2 のように設定画面になります。

20

図 2-2 の場合は、ちょっと特殊な設定をしているところです。

サブメニューでボタンが1個の場合は、

図 2-2

25

更にサブサブメニューで8個までさらに設定できます。これは、常には1個のボタンに割り当てておき、ボタンを長めに押して離れたとき1回だけスキャン表示され、一時的に2から8個のボタンに割り当てた機能が使えます。

次に、4個のスイッチで利用するソフトを使いたくても、1個のボタンしか操作できない場合を考えてみましょう。この場合、サブメニューで4個を選択します。

30

この場合、図 2-1 のように表示されます。

試しに、JoyToKey の設定画面を表示（システムトレイの中の JoyToKey のアイコンをダブルクリック）して、ボタン4個でマウス遅いやボタン4個でマウス早いを選択して、JoyToKey を最小化してください。

「できボタン+。」は、順次スキャンしますので、それぞれのスキャン位置でボタンを押してマウスカーソル移動を確認してみてください。

35

そのほかのメニューを順次説明いたします。

スキャン速度 文字通りスキャンする速度のサブメニューが開きます。

シングル表示 表示する領域が狭い場合、1個の表示の大きさで、表示ボタン名が変化します。

40

ボタン名編集 ボタン名を編集することができます (図 2-3)。

5

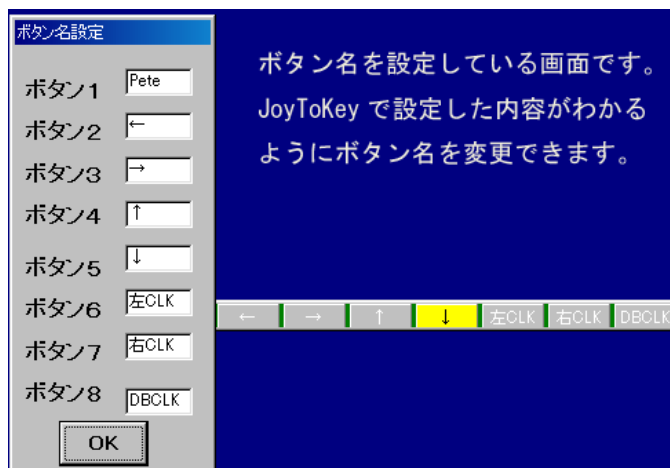


図 2-3

ボタン名表示 チェックを外すと図 2-4 のようにボタン名を表示しません。色ボタンで操作するソフト利用のとき便利です。

15



図 2-4

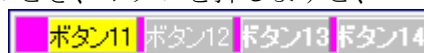
サウンド チェックを入れると、スキャン時に音がでます。
 カーソル追いかけ チェックを入れると、マウスカーソルのそばに表示されます。
 JoyStickID2 チェックを入れると、JoyToKey の Joy Stick2 に設定した内容が反映されます。(最大 16 個の定義が可能になります。)

20

「できボタン+。」の表示左端が緑色から青色に変化するときがあります。



この左端が青色のとき、ボタンを押しますと、



左端が桃色に変化し、ボタン名も変わります。

25

再度左端が青色の時、ボタンを押しますと、左端の色は緑色になって元に戻ります。

http:// 「できマウス。」のホームページに接続します。

ヘルプ ヘルプを表示します。

Pete・弾話 Pete や弾話を起動後にチェックを入れると、そのモードに自動で切り替わります。

30

メニューにはありませんが、各ボタンをクリックしますと、ボタンの色や、文字フォントを図 2-5 のように変更できます。設定内容は、次回起動時に反映されます。

35



図 2-5

40

3. 「できリング。」

「できリング。」を使いますと、「できマウス。」に接続されたボタンでマウスの移動やクリックが可能になります。1個ないし2個のボタンで利用できます。マウスカーソルの周囲に方向案内のサブリングが表示されます。

5 なお、「できリング。」は、Takayamaさんと共同開発しました。

WindowsVista以降では、残像が生じますので、Aero機能をOFFにしてください。

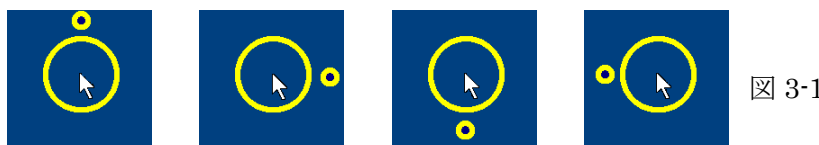


図 3-1

10 図 3-1 のように、大きなリングの周囲を小さなリング(サブリング)が周回します。

「できマウス。」に接続したボタンを押しますと、サブリングの方向にマウスカーソルが移動できます。長押し中や、繰り返し短押し中は、サブリングの周回は、その間停止しますので、カーソル位置合わせも容易にできます。



図 3-2

15 図 3-2 のように、2重円のととき、ボタンを押しますと、サブリング表示をやめて、図 2-3 のようになります。



図 3-3

20 図 3-3 のときボタンを押しますと、左クリック動作をします。



図 3-4

25 図 3-4 のときボタンを押しますと、それぞれ右クリック、左ダブルクリック動作をします。



図 3-5

30 図 3-5 のときボタンを押しますと、ドラッグモードになり、表示は、図 3-1 のようにマウスカーソル移動可能になります。移動場所が決まりましたら、図 3-2 の表示のときボタンを押しますと、ドロップ(ドラッグ開放)動作をします。

図 3-6 の設定画面は、壁紙の中央付近でダブルクリック動作をさせると表示するよう工夫してあります。設定ボタンも大きく配置しました。

35 リングの大きさや色やサブリングの切り替え時間なども変更できます。

「できマウス。」に2個のボタンを接続して利用可能な場合は、入力デバイスの指定で、#1に移動、#2にクリックを割当を選択しますと、ボタン1でマウス移動・ボタン2でクリック操作ができるようになります。

「できリング。」の終了は、設定画面から終了ボタンを選択するか、システムトレイのアイコンを選択しますと設定画面が表示します。

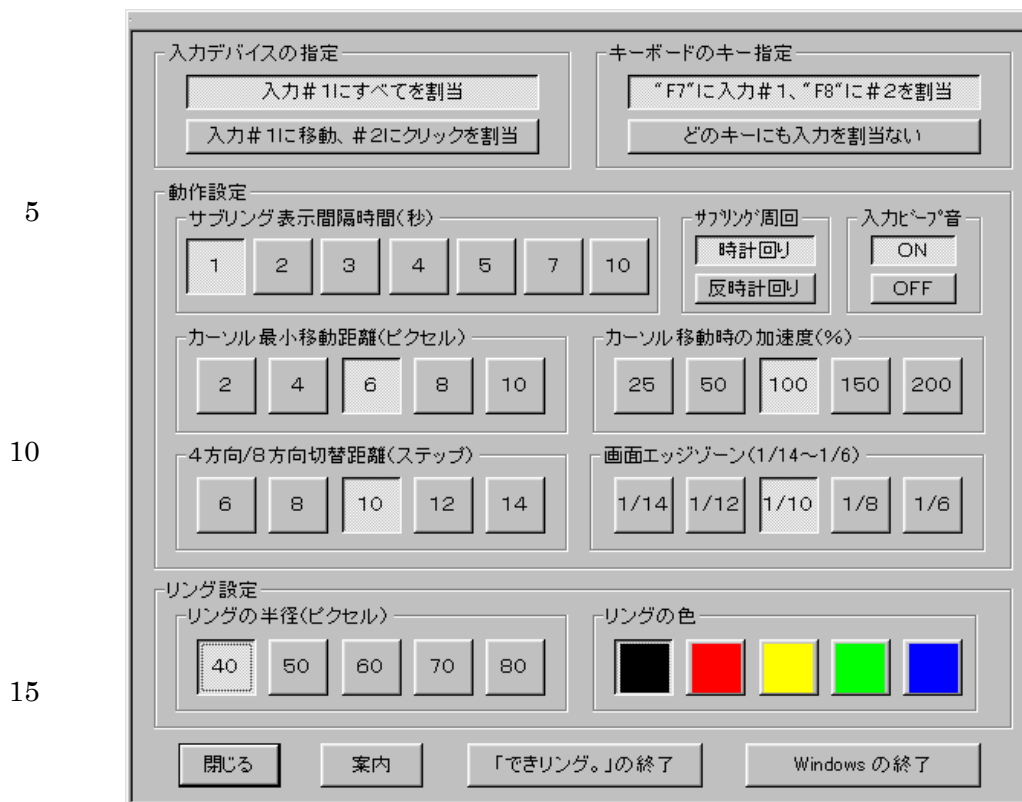


図 3-6

4. 「JoyToKey」 (作者：大久保さん)

必ず、「できマウス。」を接続してから設定してください。

HeartyLadder では、**JoyToKey** を起動する必要がなくなりました。

HeartyLadder 環境設定のモード切替画面で、ジョイスティックボタンを選択してください。

「JoyToKey」というソフトを使いますと、「できマウス。」に接続されたボタンにキーボードやマウスの機能を割り当てることができ、ファイル名を付けて保存できます。

「JoyToKey」は、Ryo Ohkubo さんが開発されたもので、「できマウス。」の専用機能を追加していただきました。



図 4-1

ボタン1にAltを割り当ててみましょう。新規作成をクリックしてファイル名をつけて
図4-1でButton1をクリックしますと、図4-2になります。

5



図 4-2

10

図4-2で、ボタン1にAltを割り当てるには、Keyboardを選択し、キーボード
15 入力縦に3個並んでいるテキストボックスの最初を選択しておきます。
直接キーボードや、仮想キーボードからAltキーを押すと、図4-2のように
Altと入ります。1個のボタンに3つまでのキー設定が可能ですので、
Alt+Ctrl+Aなども割り当てが可能です。設定をクリアするには、Clearボタンを
20 選択してください。

20

ボタン1にマウス機能を割り当てたい場合は、図4-2でMouseを選択しますと、
図4-3のようになります。

25

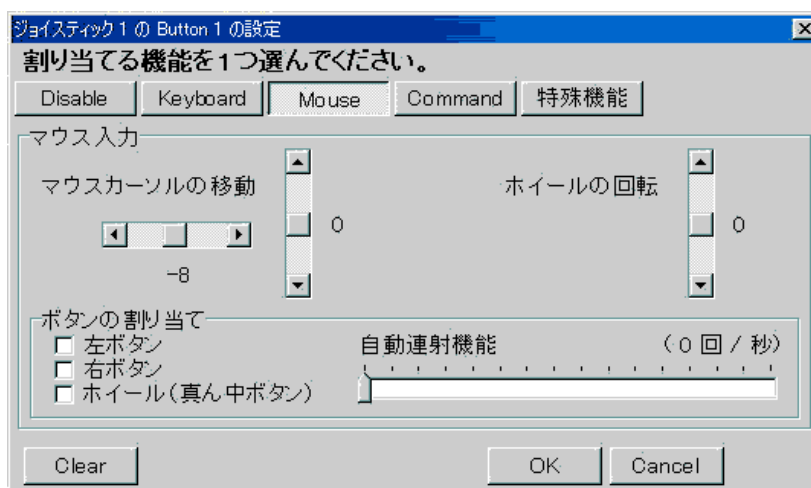


図 4-3

30

図4-3では、ボタン1を押しますと、マウスカーソルは、左に速度8で移動するよう
になります。

35

ボタンの割り当ての項目にチェックを入れますと、ボタン機能を割り当てること
ができ、左ダブルクリックの割り当ての際は、自動連射機能を2にします。

JoyToKeyは、「できマウス。」のための専用機能を装備していただきました。

「できボタン+。」や、「できチョンツー。」は、**JoyToKey**と共に利用します。

つまり、**JoyToKey**は、本来多くのボタンのためのソフトですが、1個のボタンでも
40 **JoyToKey**の機能を使うことができるわけです。

5. 「パッド de マウス」 UniversalEdition (作者：和泉家さん)

「パッド de マウス」というソフトは、和泉家さんが作られたソフトです。ボタン1個モードや、仮想キーボードのフォントサイズ変更可能などの機能を追加していただきました。

5 「できマウス。」に接続されたボタンにキーボードやマウスの機能を割り当てることができ、ボタンには、自由にキーを割り当てることができます。

1個のボタンでの利用の場合は、ユーザー補助(図5-1)で”動作をスキャンモードにする”にチェックを入れてください。(スキャンモードに設定を変更した場合は、一度パッド de マウスを再起動する必要があります。)

10

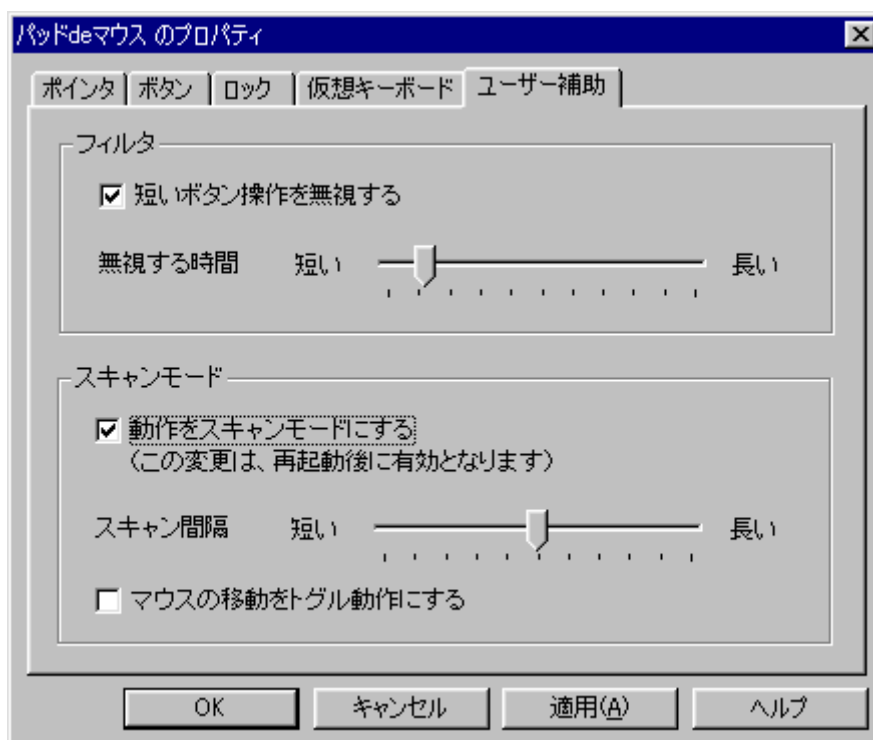


図 5-1

15

20

25



図 5-2

30

1個のボタンで利用するスキャンモードでは、図5-2のようにマウскарソルの周囲に方向案内のサブカーソル(三日月型)が表示されます。ボタンを押しますと、サブカーソル方向にマウскарソルが移動できます。

サブカーソルが消えたときボタンを押しますと、クリックモードに入ります。

35

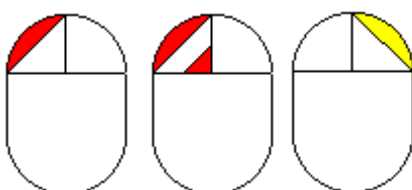


図5-3の表示のときにボタンを押しますと、左側から左クリック・左ダブルクリック・右クリックとなります。

図 5-3

40

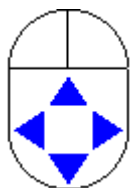


図 5-4 のときにボタンを押しますと、図 5-2 のようにカーソル移動モードに戻ります。

5

図 5-4

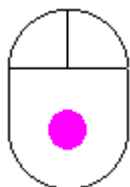


図 5-5 のときにボタンを押しますと、図 5-6 のような仮想キーボードモードになります。

10

図 5-5

	漢字	0	1	2	3	4	5	6	7
		8	9	:	;	,	-	.	/
	Ctrl	@	a	b	c	d	e	f	g
	Shift	h	i	j	k	l	m	n	o
	BS	p	q	r	s	t	u	v	w
Enter	x	y	z	[¥]			

仮想キーボードは、図 5-6 の他にテンキー・ファンクションキー・かなキーが切替表示できます。切替は、左端でできます。仮想キーボードから抜けるには、右下隅のマスで抜けます。

15

20

図 5-6

仮想キーボードの表示フォントサイズを替えたい場合は、図 5-1 の仮想キーボードのタブを選択して設定します。”仮想キーボードの端で止まる”の設定は、各自の利用状態で選択してください。

25

各種設定は、次回起動時にも反映されます。

図 5-1 のユーザー補助のタブでは、手ぶれ対策も可能です。

30

35

40

6. 「できクリック。」

ボタンを利用してマウスカーソルを移動出来た際、残りのボタンがなかったり、ボタンを押せない場合、クリックを自動で行ってくれるソフトで、「できマウス」の本体が無くても利用できます。

- 5 カーソルが移動し、カーソル停止後、一定時間(初期値3秒)後にクリック動作をします。
マウスのクリックをしないで、移動だけで動作を確認してみてください。

** Ver1.7 からシングルの表示がダブルとなります。

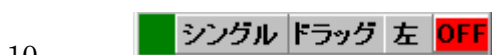


図 6-1

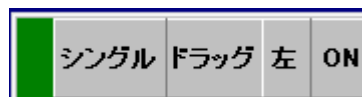


図 6-2

図 6-1 の説明をします。

- 15 緑色部 左ドラッグで場所を移動できます。
右クリックで終了メニューがでます。
シングル この上にカーソルを置くとダブルと表示が変わりダブルクリック動作を1回します。
ドラッグ この上にカーソルを置くとドラッグ動作を1回します。
左 この上にカーソルを置くと表示が右となり右クリック動作を1回します。
20 OFF ONの上にカーソルを置きますと自動クリックでOFFになります。
OFFの上にカーソルを約2秒置きますとONになります。
ONの状態をクリック動作します。ONの状態を利用します。

また、図 6-1 で、左にカーソルを置いて右と表示した後、緑色部にカーソルを

- 25 移動して、一定時間経過しますと、図 6-3 のような各種設定画面が表示されます。



図 6-3

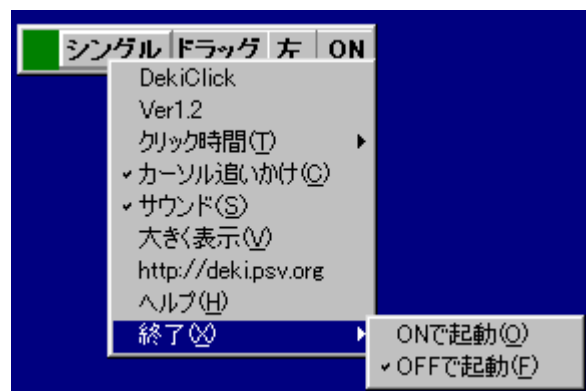


図 6-4

- 35 クリック時間 1秒(最新版は0.5秒)から9秒までのインターバルを選択できます。
カーソル追いかけ ここにチェックを入れますと、「できクリック。」は、マウスカーソルを
追いかけるようになります。
サウンド チェックを入れますと、自動クリック動作時に音がでます。
40 大きく表示 チェックを入れますと、図 6-2 のように表示が大きくなります。
http 「できマウス。」のホームページに接続します。
ヘルプ ヘルプが表示されます。
終了 サブメニューが開いて、次回起動時は ON/Off のどちらかを選択
できます。

- 45 設定した内容は、「できクリック。」の表示位置も含めて、次回起動時にも反映されます。

7. 「できTAB。」

「できTAB。」は、「できマウス。」に接続したスイッチを利用して、アプリケーションにTABやSHIFT+TAB、その後にENTERやSPACEキーを自動的に送り込むソフトです。

Windowsでは、次の項目にフォーカスを移動するときは、TABを使いますね。

5 戻る場合は、SHIFT+TABですね。決定するときは、SPACEやENTERキーを使いますね。

マウスで操作するアプリケーションでも、このようにキーボードからでも操作できます。

このTABを利用して、目指す箇所を選択して決定するときに役立ててもらえたらと

「できTAB。」を作りました。

10 既にあるソフトが、まるでオートスキャンに改造したように利用することができます。

「できマウス。」を接続して「できTAB。」を起動しますと、図7-1のように表示されます。最小化にチェックが入っていると、タスクトレイに常駐して動作します。

通常は、最小化にチェックを入れてご利用ください。

15



図 7-1

図7-1では、スイッチを1個利用する場合の例です。

1. たとえば、図7-2のような、マウスクリックで正解を選択するソフトがあったとします。マウスカーソルの移動や、クリックが出来ない場合は、利用できないソフトになることがありますね。ここで、「できTAB。」を利用してみましょう。

30

35

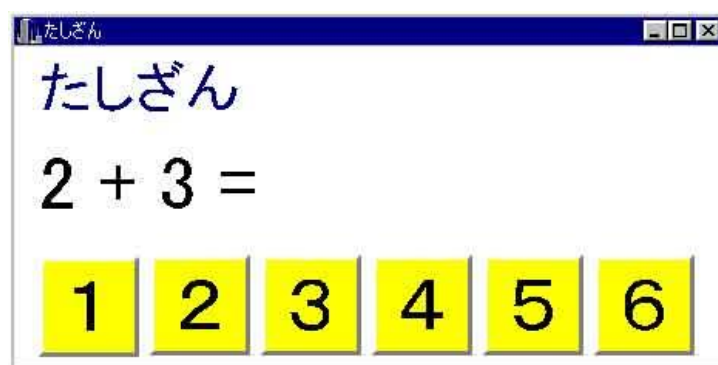


図 7-2

40

2. 「できマウス。」に接続したスイッチを長く押すと、ボアと音がして、TAB が設定間隔毎に自動入力されます。これで、図 3 のようにフォーカスが順次移動し、ご利用のソフトがまるで、オートスキャンのようになります。

速さを変更するには、TAB 発生間隔を調整してください。

5 3. 更にこの状態でスイッチを長く押すと、またボアと音がして SHIFT+TAB が 設定間隔ごとに自動入力され、フォーカスが戻っていきます。

4. 上記 2 項、3 項において、スイッチを短く押すと、設定された Enter か SPACE キーが入力され、フォーカスが決定されます。

5. 短押しの長さは、利用者の障害に合わせて自由に設定できます。

10 図 7-1 の短押し判定時間を調整してください。

次にスイッチを 2 個以上用いる場合の例をご紹介します

6. スイッチを複数個操作できる場合は、スイッチ複数の場合には、図 7-3 ようにチェックを入れて利用します。

15



図 7-3

20

25

30

7. パワーポイントで図 7-4 のような二者選択のソフトを作った場合を例にして説明いたします。

黄色を選択すると、本人の楽しい写真を表示し、赤を選択するとハズレの絵を用意してもいいですね。

35

通常は、マウскарソルを移動して、クリックで選択しますが、それが出来ない場合で、スイッチを選択して押せる場合は、「でき TAB。」を利用してみてください。

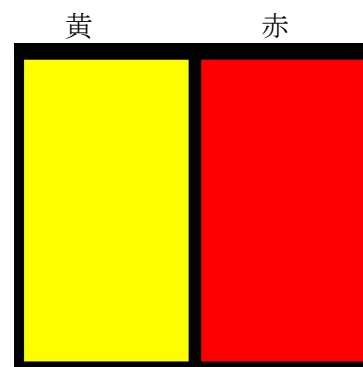


図 7-4

40

8. この場合のスイッチは2個なので、「できマウス。」には、スイッチを2個接続してください。「できTAB。」の設定はスイッチ複数の場合にチェックを入れて、2個を選択すればOKです。

最大12個まで設定できますので、12個の選択肢のソフトに対応できます。

5 (5個以上の場合は「Φ3.5 x 12 ユニット。」をご利用ください)

図7-4のような場合でも、図7-1の設定のようにスイッチ1個でも利用できます。

その場合は、図7-4の黄色と赤色が交互にアクティブになります。

9. 「できTAB。」は、スイッチを長く押しても一度押しとしか反応しないので安心してスイッチを押せます。

10 「できTAB。」は、次回起動するときは、現在の設定内容が反映されます。

11. パワーポイントやFLASHで作品を作る場合、選択の順番や色も統一して作るようにすると、スイッチの色も対応できるようになりますね。

8. 「ためしてスイッチ。」

15 スイッチ選択の場合、特定アプリを起動して行う場合、そのアプリに精通していないと、相談者に不安を与えてしまう場合もありますね。

また、担当者が不在の場合、そのスイッチの名称・入手先・価格・特徴が分からない場合がありますね。

そのようなとき、使っていただけたらと、「ためしてスイッチ。」を作りました。

20



25

30

図 8-1

35 利用の準備

まず、お手持のスイッチを「できマウス。」に接続してください。

スイッチを押してブルーになる枠を左クリックして。そのスイッチの画像を貼ってください。

枠の1右上角でダブルクリックすると、画像編集をロックすることができます。

画像編集ロックを解除するには、再度枠の1右上角でダブルクリックします。

40 次にその枠を右クリックして、スイッチに関する情報を記入してください。(図8-2)

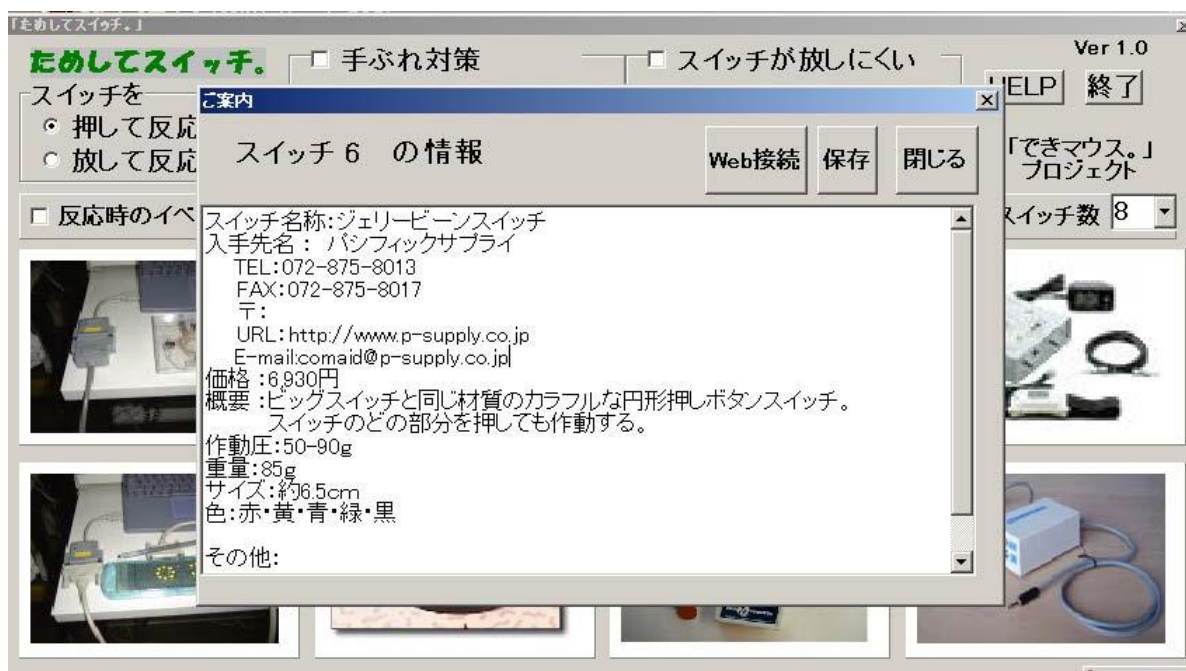


図 8-2

5 利用の仕方

[押して反応] スイッチを押すと、押されたスイッチ画像枠が青になります。これで反応がわかります。

[手ぶれ対策] 手ぶれ対策にチェックを入れて時間も調整することによって、そのスイッチがご利用できるかを試すことができます。

10 **[放して反応]** スイッチを押すことよりも、放す方がタイミングが取れる場合もありますね。そのような使い方を試してみてください。

[スイッチの情報] 画像枠を右クリックすると、スイッチの情報が見られ、また編集もできます。さらに、編集内容に `http` から始まるホームページアドレスを記入しておきますと、Web 接続ボタンをクリックするだけで、IE が起動してメーカーのサイトに接続します。

15 **[反応時のイベント]** スイッチ操作で、すぐにその反応にキーボードやマウスの機能を割り当てて、試すことができます。**反応時のイベント**にチェックを入れ、イベント種類を選択して実行ボタンをクリックすると、「ためしてスイッチ。」は、最小化されます。この状態でスイッチを操作すると、イベントを確認することができます。

画像枠を右クリックすると、スイッチの情報が見られ、また編集もできます。

20 **[スイッチの数]** スイッチの表示を変更できます。

[HELP] ハードディスク内に **HELP** ファイルが存在しない場合は、自動的に IE が起動して「できマウス。」プロジェクトのサイトから **HELP** を見ることができます。

25

ソフト開発方針

ソフトに合わせて利用していただくのではなく、障害に合わせてソフトを選べるようにユニット化を基本としております。他のソフトとの相性にも配慮しております。

5 ソフト名に○(読点)があるものは、オリジナル開発を意味し、○のないソフト名は機能追加をお願いいたものです。

プログラムのすべてを開発するのではなく、全国のプログラマーに働きかけ、機能追加など協力していただくことで、短期間にソフト開発ができ、また、プログラマーにこのような分野のソフトを積極的に作成していただけたらという願いもあります。

10 多くの方々のご要望や協力(評価も含めて)で作っておりますので、「できマウス。」プロジェクトと称しております。

作成 2003.06.17 「できマウス。」プロジェクト

15

変更履歴

2009.11.30 [できリング。] で Aero 機能 OFF と終了の仕方を追記。

2007.07.25 JoyToKey について修正 (HeartyLadder で不要)

2005.06.07 導入にあたっての 4 項にスイッチの接続を追記

20 2005.03.11 「ためしてスイッチ。」の解説を追加

2004.08.30 「でき TAB。」の解説を追加

2004.08.30 「できボタン+。」に、引数機能が付いたことと、JoyToKey の自動起動機能を追加。

25

30

みんなと同じようにパソコン操作がしたい!

その願いのお手伝いができたら嬉しいです。

「できマウス。」プロジェクト

35

<http://dekimouse.org>

40